

令和 元年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 生物資源学研究科
氏 名 酒井 俊典

活動テーマ	東紀州地域における自然災害に対する防災・減災支援活動
実施期間	平成 31年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月 31日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容</p> <p>日本でも有数の豪雨地帯であるとともに、南海トラフ巨大地震の発生において大きな被害が懸念される東紀州地域の防災・減災活動支援に対し、申請代表者がセンター長を務める地域圏防災・減災研究センター教員による防災セミナー（東紀州防災アカデミー）を6回開催するとともに、当該地域におけるため池の維持管理に関連した「中山間地域におけるため池維持管理に関する検討会」を3/6に開催する予定をしている。また、当該地域の豪雨災害発生メカニズムに関する調査研究のための勉強会を開催し、東紀州地域における防災・減災活動に対する意識向上をさらに進展させるための支援活動を行った。</p> <p>(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり）</p> <p>御浜町および周辺の熊野市、紀宝町を含めた方々に、地域の防災・減災に対する意識向上のためのセミナーを開催するとともに、維持管理が重要なため池を対象とした検討会を開催し（予定）、地域の安全・安心に向けた活動に寄与できたと考えている。また、東紀州地域の豪雨災害に対する調査・研究を実施し、この成果は地域の豪雨時の対策に生かせるものになると考える。</p> <p>(3) 共同実施者との連携状況</p> <p>御浜町建設課の担当者とは密に連携がとれており、役場を通じての講演会開催の地域への周知、会場の利用、現地調査の同行等、多大なご協力を頂き、本事業を進める上で大きく関わっていただいている。</p> <p>(4) 大学の教育・研究成果のかかわり</p> <p>申請者がセンター長を務める地域圏防災・減災研究センター教員が、防災・減災に関わるセミナーを開催することで、大学での研究成果の地域への還元、地域への防災・減災教育に反映できていると考える。また、研究フィールドとして現地調査を行い、その研究成果は大いに研究・教育に反映できるものである。</p> <p>(5) イベント等開催実績（名称、実施場所、参加人数等）</p>

・防災セミナー（東紀州防災アカデミー）の開催

【プログラム】

（場所）御浜町役場 3F くろしおホール

令和元年 10 月 24 日（木）13：30～16：40

第 1 回：「気候変化と水災害」，生物資源学研究科教授 葛葉泰久（参加者 39 名）

第 2 回：「災害時の地下水利用に向けて」，教育学部教授 宮岡邦任（参加者 33 名）

令和元年 11 月 10 日（日）13：30～15：00

第 3 回：「災害時の保健医療衛生対応」，三重大学医学部附属病院病院教授 武田多一（参加者 40 名）

令和元年 11 月 24 日（日）13：30～16：40

第 4 回：「南海トラフ地震に備える～建物の地震被害とその対策～」，工学研究科准教授 川口淳（参加者 32 名）

第 5 回：「避難所運営を考える」，地域イノベーション推進機構助教 水木千春（参加者 27 名）

令和元年 12 月 18 日（日）15：10～16：40

第 6 回：「応急仮設住宅計画 ー住まいの復興の事前準備ー」

「みえ防災塾の紹介」，工学学研究科准教授 浅野聡（参加者 25 名）

参加者合計 196 名

・中山間地域におけるため池維持管理に関する検討会（予定）

（日時）令和 2 年 3 月 6 日（金）10：00～15：00

（場所）御浜町中央公民館，御浜町内砂方池（UAV デモ飛行）

【プログラム】

10：00～10：30：「三重県内のため池の概要および中山間地区におけるため池の災害事例」，三重県熊野農林事務所 油谷彰太

10：30～11：00：「近年のため池被害状況」，生物資源学研究科 酒井俊典，三重県・三重大学みえ防災・減災センター 山本暁子

11：00～11：30：「Society5.0 時代に向けたドローンの活用」，生物資源学研究科 岡島賢治

・現地調査および検討会

令和元年 5 月 18 日（土）9：00～15：00，現地調査・検討会，御浜町役場会議室，御浜町内（参加者 10 名）

令和元年 8 月 10 日（土）10：00～15：00，現地調査・検討会，御浜町役場会議室，御浜町内（参加者 12 名）

令和元年 9 月 7 日（土）10：00～17：00，現地調査，新宮市内（参加者 15 名）

令和元年 12 月 7 日（土）9：00～15：00，現地調査・検討会，御浜町役場会議室，御浜町内（参加者 12 名）

（6）これまでの取組みによって得られた具体的な成果について本連携による，行政だけでなく地域の一般に向けた防災・減災に関する講演会の開催は，地域の安心・安全に向けた防災・減災に対する意識向上に対し大きく寄与できたと考えている。また，令和 2 年度には御浜町と「中山間農村地域における Society5.0 の導入」についてのあり方を検討する部会を実施する予定である。